

10/25 東京地検の勾留請求、東京地裁の勾留決定糾弾！

「10・22 天皇即位式弾圧」2名の仲間をすぐに返せ！



◆一度は却下された検察の勾留請求

10月22日に500名以上の参加を得て銀座で行われた「天皇即位式反対デモ」(おわてんねっと主催)において、3名の仲間が機動隊に強襲され、不当逮捕されました。許せない！

10月25日に東京地検・森中検事は逮捕した3名の勾留(10日間:勾留期限11月2日)を東京地裁に請求。東京地裁は25日午後2時半ごろこの勾留請求を却下しました。つまり釈放の決定です。本来は当たり前のことですが、「司法の独立」など絵空事のこの国においては、検察の勾留請求を裁判所が却下することは大変珍しいことです。東京地裁が政治的な弾圧事件でそのような判断をしたことは前例がほとんどないそうです。

それくらい今回の弾圧が、天皇即位式反対の声をつぶすために準備・強行された不当弾圧だということです。

◆検事が「準抗告」！ 一人は奪還したが2名は逆転の勾留決定！絶対許さない！

東京地検はこの決定に「準抗告」を出しました。勾留却下決定を不服として再び東京地裁に申し立てたのです。東京地裁刑事13部はこの準抗告を棄却し、築地署に勾留されていた仲間は無事釈放されました。

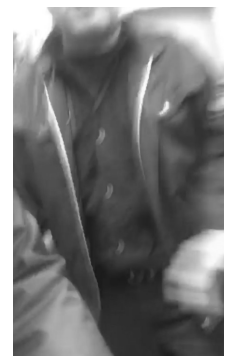
ところが東京地裁刑事8部・刑事17部は、夜半にかけても準抗告の審理を続け、夜9時ごろになんとこの準抗告を認めてしまったのです！

これで湾岸署と大井署にいる仲間の釈放は取り消され、10日間の勾留が認められてしまいました！ふざけるな！湾岸署と大井署の外では降りしきる雨の中、仲間や友人たちが二人の釈放を今か今かと何時間も待っていました。東京地裁のだまし討ち、絶対に許せない！

◆湾岸署の差し入れ妨害！抗議したら警官が「殺すぞ！」と脅迫！謝罪せよ！

その上湾岸署は、被疑者に当然保障されている差し入れの権利を「署の独自ルール」と称して恣意的に決定し、様々な理由をつけて妨害してきました。世界的にも非難ある「代用監獄」で、人権侵害が横行しているのです。

25日夜には、救援会の仲間が湾岸署を訪れ、受付でこの差し入れ妨害に抗議を行いました。すると多数の警官が突如集められ、仲間たちを暴力的に排除し、あろうことか警官の一人は排除の渦中で「殺すぞ！」という暴言を吐いたのです！はっきりと動画も残っています。「殺すぞ！」発言をした警官は今すぐに謝罪しろ！



「殺すぞ！」脅迫刑事

◆一日も早い奪還目指して連日救援活動にとりくんでいます！カンパもお願いします！

救援会・弁護団は残り2名の一刻もはやい奪還を目指して、連日活動しています。勾留期限前には、勾留理由開示公判や集会も予定しています。重ね重ねのお願いになりますが、救援カンパもよろしくお願いします。

天皇制弾圧粉碎！一刻も早く仲間をかえせ！ 2019年10月27日「10・22 天皇即位式弾圧救援会」

◆救援カンパの送り先→【郵便振替00100-3-105440】「救援連絡センター」あて
※共用の宛先です。「10・22 天皇即位式弾圧救援カンパ」と必ずご明記ください

【10・25 に築地署から解放された仲間からのメッセージ】

「いきなり機動隊に襲いかかれて、カメラを壊されそうになりました。いつのまにかパトカーに。なぜ逮捕されたのか今でも全くわかりません。このデモを潰すためだけに準備された逮捕だったと思います。勾留がつけられてしまった2人も全く状況は同じだと思います。早く釈放すべきです。」